

㈱シー・ティー・ワイ 令和2年度 第1回放送番組審議会

今回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面開催で実施。事務局が用意した番組を各委員で視聴していただき、回答書にて番組審議を実施した。

実施日・・・2020年9月10日～30日

参加委員・・・伊藤八峯委員長・三輪秀孝副委員長・石井盟暁氏・松井真理子氏・森亜希子氏・吉住友里氏
渡辺敏明氏

1. 審議番組①

四日市市 PR 番組「四日市GU・RU・ME！」(15分)

放送媒体：地上12ch(奇数月の21日～末日)/ラジオCTY-FM/インターネット配信 YouTube

2020年7月放送(第1回)・・・大矢知手延べ麺

四日市市の特産品に特化した行政番組。市民向けの「行政番組ちゃんねるよっかいち」に対し、この番組はシティプロモーションの一環として広く県外の人にも四日市市の魅力をPRする。番組では毎回、市内の特産品を紹介し、特産品を生かした料理を提案する。レポーターは、名古屋圏での影響力があり、若い世代や女性に人気のある廣瀬めぐる。

■いい番組で冷麦パスタが食べたくなる。四日市に大矢知素麺の名がついた店は欲しい。

■大矢知地区には多くの製麺工場がある事は聞いていたが、製造工程を紹介してもらうのは初めてで興味を持った。工程の技術的な事、また麺料理の方法なども詳しく紹介していただき大変勉強になった。手延べ麺は200年前から作られているそうで、大矢知に伝わった由来など歴史的背景を取り上げて紹介して欲しい。料理を食べられる高砂町の伝七郎の住所を簡単な地図でいいので店の場所を示してほしい。

■地場産業の紹介と新たな活用方法の紹介など、今必要とされている事であり非常に内容は良い。また紹介しきれない事においてもHP参照などで紹介するなど視聴者として役立つと思う。コロナ対策のためどうしても無い事ではあるが紹介企業の方とのふれあいがもう少し欲しい。調理場所に伝七郎の利用は市民に対しての良いアピールにもなる。今後も多くの企業を回り周知して行って欲しい。キャスターのキャラが少々濃いです。

■MEGURUさんのキャラクターに好感が持てる。地元産のそうめんに親しみが持てる作り方だと思う。ただ、料理に重点がかなり置かれていた分、肝心のそうめんについて内容がもの足りない。特に「手延べ」といっているのに機械作業ばかりが写されていたため、かえってマイナスイメージにならないかと心配になった。麺をよることで腰が出るという部分は面白かったので手作業で延ばしている部分(職人さんが写っていました)をもっと見せて欲しかった。冷や麦の方が多い(70%)というのは意外だったが、そうめんと冷麦の違いにも簡単に触れられるといいのでは。そうすれば冷麦をパスタとして使う意外性が伝わるのでは。

■番組の趣旨がよく伝わる良い番組だと思う。製造過程が見られたのも面白かった。またそこからの料理番組突入というのが、今までになく、斬新で、飽きずに見入ってしまった。リポーター廣瀬さんの進行もテンポよく、親近感が持て楽しく拝見した。次が楽しみになる。次回予告を出しても面白いかもしれない。

■MCのMEGURUさん、元気な感じで好印象。MEGURUさんの言葉のほとんどにテロップが入っていたが、まずテロップに目が行ってしまい、話し終わる前にも文字が出ているのも気になった。MEGURUさんの話は聞きやすく、全ての言葉にテロップを入れる必要は無いように思えた。今回のテーマの「大矢知の手延べ麺」。四日市の特産品という事は知っていたが、なぜ大矢知で生産されるようになったのかを初めて知った。また工程も手作業が多く手間がかかっているという事もわかり、これからはさらに自信を持ってお土産に持っていこうと思う。素麺のアレンジ料理を作った「伝七郎」。お店は高級そうな佇まい。行ってみたいけど気軽に行けるお店なのだろう

か...と気になったので、紹介していた素麺ランチの値段を紹介してもらえたら嬉しかった。

調理の部分で最後にパルメザンチーズを削ってかけていたが、家庭にあることはあまりなさそう...粉チーズで代用すれば良いと思うが、そのような紹介があっても良かった。素麺でパスタ、一体どんな感じなのかな?と思って見ていたが、食べている時の MEGURU さんのコメントがわかりやすく、作ってみたいとなった。また次回、どんな料理が紹介されるのか楽しみ。

■番組の感想として次の点に配慮いただければ。渡辺製麺所の位置紹介から工場内への案内の間に工場へ入っていくシーンがあればもっと自然感が出たように感じた。体育館が映るシーンがあったが、コメントで案内があった方がよいと思う。全体的に音楽の音量が小さいように感じた。

2. 審議番組②

「きょうはどこまで北勢散歩」(30分)

放送媒体：地上 12ch(毎月 16 日～末日)

2020 年 8 月放送・・・金井神社(いなべ市)・自然薯料理 茶茶(菰野町)・菰野東部交通(菰野町)

リポーターの玉腰佳弘と社員リポーターの日高由貴が北勢地域を散歩しながら地域の人のふれあいを通してまちの魅力を伝える。CTY・CNS「まちぶら番組」として 2014 年 4 月から続く番組。

■金井神社の説明はもっと地元の人がした方がいいのではないか。コロナ対策はよい。

■3箇所とも新型コロナウイルス感染症への対策はしっかり実施されているようだった。金井神社では手洗鉢に紫陽花の花を浮かべたり、絵馬の代わりにガラスの風鈴に願い事の短冊をつけて材木でつくった櫓に吊すなどほかの神社には見られない工夫がされていた事に感心した。特に飲食店は大きな影響を受けている。来客が少なくなった中、テイクアウト商品に力を注いでいる店舗が多いよう。茶茶ではとろろをストローで吸って食べるという通常では考えられないアイデアで商品が販売されていてびっくりした。観光業界も多大な影響を受けている。菰野町東部交通ではバスの内部に飛沫防止のシートを張ったり、空気清浄機の設置や座席の消毒など細心の注意を払って対応されていた。感染症の対応方法が手探りの中行われ、新しい生活様式が求められている。ワクチン等の薬品が実用化され一日も早く収束し、元の生活に戻ることを願う次第。

■With コロナ時代で各企業は非常に努力している。その中でなかなか大手メディアでは伝えない、伝わらない事をしっかりと発信していると思う。飛沫対策、消毒、新商品など・・・今は特に観光業や飲食業が厳しい状況なのでどんどん取り組み状況を発信して欲しい。大手メディアは国民の不安を煽り、苦しんでいる企業に止めを刺す報道を行う。この状況でどの様に生活スタイルを変え経済活動を行っていくかを問わない。地域コミュニティであるケーブルテレビこそが今後必要とされていく転機と思う。是非頑張る地元企業などをしっかりと応援して頂きたいと思う。

■コロナ対策応援編という着眼点に感心した。非常によいアプローチだと思う。金井神社、茶茶、菰野東部交通のそれぞれの前向きな取り組みが視聴者にも勇気と希望を与えてくれると感じた。また地域では支えあって応援していきたいという気持ちを喚起する地域密着の放送ならではの好番組。

■内容は3つともよかった。今回はコロナ対策を軸に、バラエティーに富んだセレクトでこちらも楽しく拝見した。サービスの値段が気になったが、はっきり出ていなかったのは取返して？神社の風鈴の値段や自然薯茶茶さんの代金など、文字でさりげなく出して頂くとよいのではないか。リポーター同士の掛け合い(会話)の内容は微妙なので、すっきり見られない部分もあった。茶茶さんのところぐらいから、風の音なのか雑音が気になった。バス会社さんはせつかなので、ツアーのパンフレットや情報を画像に出したら、もっと行きたい気持ちになるのでは。

■玉腰さんと日高さんのコミカルなやりとりを楽しみながら拝見した。二人のキャラクターの違いがバランスが取れている感じがした。私個人としては、日高さんに親近感を感じた。旧暦の話をしている時のやりとりや、茶茶の部分でフェイスシールドのゴムがひっくりかえっていたり...そんな日高さんに魅力と親近感を感じた。

最初に行った「金井神社」。手水にあじさいを浮かべていたのが美しく印象的でしたが、「見る事で心を清める」という思いがあると知り、鳥居をくぐったり手を洗うことだけが「清める」という事ではないのだと感銘を受けた。

2 軒目の「茶茶」。ストローで吸って食べるとろろめし「すうとろ」。斬新なアイデアで面白く、お腹もいっぱいになりそう。でも味や感覚は？と気になったが、日高さんの「違和感がない」というコメントを聞いて一安心。

食べてみたい気持ちになった。3 軒目の「菰野東部交通」。菰野に旅行会社があることを初めて知った。バスの座席に取り付けられていたビニールシート、バス専用のグッズがあるのだと思ったら手作りと聞いて驚いた。

座席を外したり車内の空気を綺麗にしたり、とてもしっかり感染対策をされているとの事で、この番組を見た方も安心して旅行に参加出来るのではないかな。

■地域に密着した番組は必要だと感じる。宮司さんの声が小さい。喫茶店での取材で、店先での会話ではなく席に座っての方がよいのでは。

3. 番組制作全般に対するご意見、ご提案

■私の趣味の高校野球観戦の点から。今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため夏の大会は無観客試合になり、CTY で放送していただき大感謝。でも雨天が多く、予定通り試合ができず残念なところもあった。今開かれている秋大会も無観客試合。来年の春大会、夏の地区予選など、これから先のことは全く予想できない。従来放送されていた夏の地区予選のような実況中継は無理かもしれないが、できれば春大会、秋大会の見所をダイジェストで放送してほしい。

■在宅ワークが今後主流となっていくと思う。今までテレビを見なかった方も見る可能性があると思う。この様な地域密着型の番組をどんどん発信して。また若者のテレビ離れについての対策も行ってもらいたい。

新型コロナウイルスに関して正しい情報(対策など)が残念ながら発信されていない状況だと思う。新型コロナウイルスは残念ながら無くならないものと捉え、どの様に我々の生活様式を変更すれば良いのかなどを番組で特集をして頂ければと思う。ウイルス学者だけではなく、経済学者など多方の専門家とともに発信して頂きたい。

■大学との連携による番組制作はできないか。

例：ゼミ紹介、スポーツクラブ等紹介、地域との連携の取り組みなど

■今回の番組はコロナ禍での取り組みに焦点が当たっており、よかった。特にバス会社の対策は初めて知りこれならバス旅行してもいいかなと希望が持てた。また機会があったらコロナ対策特集で、対策がしっかりなされているお店の特集などをしていただくと、視聴者の方も安心して、サービスを受けることができると思う。

■このコロナ禍で店の方も苦勞されている中、番組でこのような取り組みを紹介すると私たちも安心して何う事ができる。そしてこの状況下での番組制作も大変だと思うが、行く側、迎える側にとってもメリットがあると思うので、引き続きこのような特集をしていただきたい。

■今はコロナ禍のためメディアの注目が高まっている。これを好機ととらえ積極的に取り組んでいただけたらと思う。

以上